



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月21日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オービックビジネスコンサルタント

コード番号 4733 URL <http://www.obc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 和田 成史

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長兼管理部長

(氏名) 和田 弘子

四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日

配当支払開始予定日

TEL 03-3342-1881

平成25年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,426	5.3	3,274	△1.8	4,366	21.6	2,708	23.1
25年3月期第2四半期	7,999	△1.6	3,333	△2.4	3,589	△13.6	2,201	△10.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	72.07	—
25年3月期第2四半期	58.52	—

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	88,973	78,759	88.5	2,095.64
25年3月期	90,166	78,102	86.6	2,077.36

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 78,759百万円 25年3月期 78,102百万円

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産金額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
26年3月期	—	50.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	25.00	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成25年3月期および平成26年3月期第2四半期末については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,700	4.6	7,820	6.6	9,420	7.7	5,210	5.2	138.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	40,352,000 株	25年3月期	40,352,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	2,769,574 株	25年3月期	2,769,574 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	37,582,426 株	25年3月期2Q	37,611,255 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足説明	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、円安、株高が進み、政権交代後のアベノミクスへの期待感から景気回復に向けて明るい兆しが見られ、足元の状況では国内生産や輸出に持ち直しの兆しも出てまいりました。当社の属する情報サービス産業においても、顧客の低価格かつ高い投資効果を期待する指向といった構造的な要因に変化はないものの、OSのサポート終了に伴うハードウェアの切替需要、BCP（事業継続計画）構築さらに税制改正に伴うシステム更新需要がある中で、国内企業のIT投資は、底堅く推移しつつあります。

このような経済環境のもと、当社は「顧客第一主義」を念頭に置き、業務用パッケージソフトウェアのメーカーとしての役割を認識し、既存ユーザーへのサポート体制の強化を行うとともに、企業活動の業務生産性の向上やビジネス環境の変化にも「安心」対応いただけるパッケージソリューションの提案に注力いたしました。

また当第1四半期会計期間には、販売パートナー企業向けに「OBC戦略発表会」を開催し、販売パートナー企業との足並みをそろえ、より顧客ニーズに合ったサービス提案を目指し、さらに当第2四半期会計期間では、10月初旬より開催する、顧客企業向けの「奉行フォーラム2013 on Discover」に向けた準備に全社一丸となって取り組んでまいりました。この「奉行フォーラム2013 on Discover」は、全国主要都市での開催を予定しており、顧客企業の業務の流れに存在する課題に対し、システムによる様々な生産性向上効果を実感していただき、そして安心できるパッケージソリューションを展示ゾーンやセミナーにて体感していただくフォーラムとなっております。2014年4月に控えたWindows XPのOSサポート終了や消費税改正の動向など、企業を取り巻く環境は大きく変化しようとしています。販売パートナー企業と協力体制を敷き、最新のソリューションを提供し、顧客企業経営に活用いただけるよう取り組んでおります。

このような活動の結果、当第2四半期累計期間における業績は次のとおりとなりました。

売上高は、プロダクト売上、サービス売上がそれぞれ増加し、中でもバージョンアップによる製品売上や保守契約等の売上が順調に推移し、84億26百万円（前年同四半期比5.3%増）となりました。

損益面については、売上高は順調に推移しましたが、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は32億74百万円（同1.8%減）となりました。また経常利益43億66百万円（同21.6%増）及び四半期純利益27億8百万円（同23.1%増）の主な要因は、投資事業組合運用損益の増加等によるものであります。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産

当第2四半期会計期間末における流動資産は524億33百万円となり、前事業年度末に比べ10億75百万円増加しました。これは主に現金及び預金が27億70百万円、売掛金が16億円減少したことによるものであります。固定資産は、365億39百万円となり、前事業年度末に比べ22億68百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が21億18百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、889億73百万円となり、前事業年度末に比べ11億93百万円減少いたしました。

負債

当第2四半期会計期間末における流動負債は75億63百万円となり、前事業年度末に比べ14億71百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が9億7百万円減少、前受収益が5億96百万円減少したことによるものであります。固定負債は26億51百万円となり、前事業年度末に比べ3億78百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が4億14百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、102億14百万円となり、前事業年度末に比べ18億50百万円減少いたしました。

純資産

当第2四半期会計期間末における純資産合計は787億59百万円となり、前事業年度末に比べ6億57百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が17億68百万円増加、その他有価証券評価差額金が11億11百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は88.5%（前事業年度末は、86.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、488億2百万円となり、前事業年度末と比較して27億70百万円の増加となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、28億87百万円（前年同期は40億88百万円の収入）となりました。主なプラス要因は、税引前四半期純利益43億49百万円、売上債権の減少額16億57百万円等であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額22億77百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、8億14百万円（前年同期は8億85百万円の収入）となりました。主なプラス要因は、投資有価証券の売却による収入7億24百万円であり、主なマイナス要因は、無形固定資産の取得による支出84百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、9億39百万円（前年同期は9億33百万円の支出）となりました。要因は、配当金の支払額9億39百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年4月24日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,041,782	48,812,194
受取手形	197,719	140,189
売掛金	4,495,654	2,895,335
商品及び製品	123,217	125,630
仕掛品	905	1,030
原材料及び貯蔵品	40,448	40,336
前払費用	49,835	86,430
繰延税金資産	404,660	332,964
未収入金	12,618	4,756
その他	9,072	5,131
貸倒引当金	△17,708	△10,242
流動資産合計	51,358,206	52,433,759
固定資産		
有形固定資産	339,057	355,710
無形固定資産	285,797	388,049
投資その他の資産		
投資有価証券	36,596,670	34,478,153
関係会社株式	16,093	16,093
関係会社出資金	640,511	640,511
関係会社長期未収入金	94,050	97,750
長期預金	300,000	—
敷金及び保証金	493,423	527,850
会員権	59,130	51,780
関係会社長期貸付金	84,517	84,517
破産更生債権等	9,691	13,657
貸倒引当金	△110,358	△114,325
投資その他の資産合計	38,183,728	35,795,987
固定資産合計	38,808,584	36,539,746
資産合計	90,166,791	88,973,506

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	221,586	197,069
未払金	460,176	393,052
未払費用	500,001	648,807
未払法人税等	2,274,286	1,366,514
未払消費税等	92,926	80,528
預り金	51,074	60,238
前受収益	5,381,714	4,785,415
役員賞与引当金	50,000	25,000
その他	2,981	6,540
流動負債合計	9,034,747	7,563,168
固定負債		
繰延税金負債	1,925,984	1,511,212
退職給付引当金	1,010,058	1,045,503
資産除去債務	93,855	94,427
固定負債合計	3,029,899	2,651,143
負債合計	12,064,647	10,214,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,519,000	10,519,000
資本剰余金	18,949,268	18,949,268
利益剰余金	46,382,200	48,151,116
自己株式	△5,347,542	△5,347,542
株主資本合計	70,502,925	72,271,842
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,599,217	6,487,352
評価・換算差額等合計	7,599,217	6,487,352
純資産合計	78,102,143	78,759,195
負債純資産合計	90,166,791	88,973,506

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	7,999,626	8,426,704
売上原価	1,241,793	1,383,174
売上総利益	6,757,833	7,043,529
販売費及び一般管理費	3,424,687	3,769,069
営業利益	3,333,146	3,274,460
営業外収益		
受取利息	1,283	2,403
有価証券利息	13,337	15,947
受取配当金	468,211	737,738
投資事業組合運用益	—	303,563
その他	11,405	33,589
営業外収益合計	494,238	1,093,242
営業外費用		
投資有価証券売却損	25,974	—
投資事業組合運用損	182,872	—
その他	28,729	1,636
営業外費用合計	237,577	1,636
経常利益	3,589,807	4,366,067
特別利益		
投資有価証券売却益	10,223	1,637
特別利益合計	10,223	1,637
特別損失		
投資有価証券評価損	15,867	10,471
会員権評価損	5,500	7,350
特別損失合計	21,367	17,821
税引前四半期純利益	3,578,663	4,349,882
法人税、住民税及び事業税	1,324,274	1,369,554
法人税等調整額	53,324	271,850
法人税等合計	1,377,598	1,641,405
四半期純利益	2,201,064	2,708,477

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	3,578,663	4,349,882
減価償却費	93,152	93,152
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	42,950	35,444
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25,000	△25,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,900	△3,500
受取利息及び受取配当金	△482,832	△756,089
投資有価証券売却損益 (△は益)	15,750	△1,637
投資有価証券評価損益 (△は益)	15,867	10,471
会員権評価損	5,500	7,350
投資事業組合運用損益 (△は益)	182,872	△303,563
売上債権の増減額 (△は増加)	1,829,174	1,657,848
たな卸資産の増減額 (△は増加)	11,859	△2,427
仕入債務の増減額 (△は減少)	△102,252	△24,517
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△16,502	△12,397
未払費用の増減額 (△は減少)	△304,002	△300,214
前受収益の増減額 (△は減少)	△786,755	△596,298
その他	314,526	276,189
小計	4,367,073	4,404,693
利息及び配当金の受取額	486,530	760,102
法人税等の支払額	△764,941	△2,277,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,088,662	2,887,469
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△707,513	△26,679
投資有価証券の売却による収入	1,722,377	724,233
定期預金の払戻による収入	—	300,000
有形固定資産の取得による支出	△112,310	△63,663
資産除去債務の履行による支出	△8,820	—
無形固定資産の取得による支出	△48,294	△84,889
敷金及び保証金の差入による支出	△7,824	△35,828
敷金及び保証金の回収による収入	48,383	1,402
投資活動によるキャッシュ・フロー	885,998	814,574
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△753,650	△939,392
自己株式の取得による支出	△179,467	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△933,118	△939,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,498	7,760
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,033,044	2,770,412
現金及び現金同等物の期首残高	37,978,945	46,031,782
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,011,990	48,802,194

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

当社は、パッケージソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

当社は、パッケージソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

4. 補足説明

当社は、ソフトウェアの販売から導入・保守サービスまでを一貫してユーザーに提供しております。これらの事業活動においては、研究開発活動、営業活動ともに密接不可分なものであるため、パッケージソフトウェア事業の単一セグメントとしております。つきましては、補足情報として、品目別に「プロダクト」(ソリューションテクノロジー及び関連製品)と「サービス」についての販売実績を下記のとおり開示いたします。

四半期販売の状況

(単位：千円・%)

品 目	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		前年同期比較	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	同期比
プロダクト	4,124,285	51.6	4,323,830	51.3	199,545	4.8
ソリューションテクノロジー	2,706,941	33.9	2,780,291	33.0	73,350	2.7
関連製品	1,417,344	17.7	1,543,538	18.3	126,194	8.9
サービス	3,875,341	48.4	4,102,874	48.7	227,533	5.9
合 計	7,999,626	100.0	8,426,704	100.0	427,078	5.3